

益城町消防団任命式

～4月から新体制へ～

4月13日、交流情報センター視聴覚室で、消防団任命式が行われました。

団長、副団長、指導員、分团长および副分团长各5人、新班长32人、女性消防团员3人を含む新入团员23人に、それぞれ任命书が交付されました。

新入团员を代表して第5分团第6班(田原)の佐藤大樹团员が、「人命および財産を灾害から保護するため、消防团员として职务を遂行することを誓います」と宣誓しました。

続いて、西村町長が「新体制の中、各自しつかり任務を遂行していただきたい」と激励し、北野幸輝新团长が「突然発生する災害に、いつでも対応できるよう体制を整えておかなければならぬ」と訓示しました。

任命式終了後、益城西原消防署に移動し、訓練が行われました。基本的な動作、救急蘇生法、消防ホース延長など、消防署員から指導を受けました。

4月から新体制となり、北野团长の指揮のもと、災害が発生した場合の迅速な対応が期待されます。



①団員へ向けて訓示する北野団長 ②新入団員を代表して任命書を受け取る第2分団第2班(古閑)の福岡和博団員
③新幹部のメンバー ④消防署での訓練風景 ⑤救急蘇生法訓練のようす ⑥消防ホース延長訓練のようす



ハザードマップを作成しました



閲覧
役場危機管理課

☎ 286-3210

6月には梅雨入りも予想されます。早めの対策を心がけましょう。このマップを日々から見える場所に保管し、防災意識を高めるきっかけにしてください。

熊本地震によつて変化した地形や、街並みに対応したハザードマップ(災害想定地図)を作成しました。全世帯に配布していますので、一度、家族みんなで確認してください。

マップには、指定避難所や福祉避難所一覧のほか、地盤が低くなっていることや河川堤防の復旧工事が完了していないことから、氾濫の恐れがある地域も色分けして載せています。

また、地震や風水害時の行動マニュアルや避難所利用時の注意点、自宅の防災対策を確認できるチェック表なども記載しています。